グローバル社会で活躍できる人材の育成が日本の学校教育はもちろん、我が国全体の課題となっています。
日本の若者を海外に送り出すことと、外国の若者を日本に呼ぶことの、両方が求められています。
そのための環境整備として、サービスラーニングや
ギャップイヤー（入学前や卒業前の長期間の体験活動）などの体験的な学びが注目されています。
他方、異文化体験、異文化学習は自文化学習や自国の抱える課題についての学習と切り離せません。
グローバルとローカルを行き来できる柔らかな感性と確かな学習、そしてリアルな経験が求められます。
学校教育、生涯学習・社会教育のそれぞれの分野にまたがる体験学習、ボランティア学習の理論と実践を掘り下げます。

第16回 日本ボランティア学習学会 in TOKYO

グローバル社会に育む生きる力

～グローバル社会の学びとボランティア学習の可能性～

日時：2013年11月23日（土）～24日（日）

会場：順天中学・高等学校王子キャンパス本館
（東京都北区王子本町1-17-13　TEL：03-3908-2966）

主催：日本ボランティア学習協会
協力：順天中学・高等学校
後援：東京都教育委員会、東京都社会福祉協議会、国立教育政策研究所（申請予定）

交通：JR京浜東北線王子駅
北口下車
（エスカレータがある階段をご利用下さい）

第16回　日本ボランティア学習学会「in TOKYO」　参加申込書

（ふりがな） 氏　　名	
所　　属	
住　　所	〒
E-MAIL	

希望する分科会の番号	参　加　費 一般 2,000円　会員 1,500円　高校生・大学生 無料	11／23　情報交換会 会費 5,000円　学生 2,000円	合計金額
	円	円	円

参加お申込みは下記まで　**申込期限：2013年11月8日（金）17：00まで**

FAX：03-6730-1556　E-mail：krt3737@asia-u.ac.jp

担当：栗田充治（日本ボランティア学習協会事務局）　※会費などは当日受付でお支払い下さい。

プログラム

※内容及び参加団体は変更される場合もございます。予めご了承ください。

11月23日(土)

13:00~13:30 【開場・受付開始】(本館7階JMホール)

12:30~13:15 【理事会】(役員のみ)(本館2階 S会議室)

13:30~14:30 【開会行事】〈三味線演奏〉箕田広大 氏(順天高等学校卒業生) 司会:順天高等学校 社会福祉部

【基調講演】『英国のギャップイヤー ~順天中学高等学校の実践例を中心に~』

Doug Young 氏(Project Trust/日本担当責任者) 通訳/実践例解説:中原晴彦 氏(順天中学・高等学校)

【アレックディクソン賞授賞式】「世界のボランティアの父」と呼ばれた故アレック・ディクソン博士の業績を記念して、ボランティア学習の優れた実践・研究を行った団体・個人の表彰を行います。

14:40~17:25 【シンポジウム】『グローバル社会の学びとボランティア学習の可能性』

〈シンポジスト〉八木浩光 氏(熊本市国際交流事業団) 平賀研也 氏(長野県伊那市立伊那図書館長)
中原晴彦 氏(順天中学・高等学校国際部長)
〈コーディネーター〉橋本洋光 氏(協会理事・東京女学館中学・高等学校)

17:45~19:30 【情報交換会】(希望者のみ) 会場:順天中学・高等学校JSハウス(本館から徒歩2分)
司会:大塚博司 氏(協会理事・順天中学・高等学校)

会費:5,000円
学生:2,000円

11月24日(日)

09:00~09:50 【自由研究発表】(本館6階教室) ※会員の発表者を募集中です。10月23日までに日本ボランティア学習協会事務局宛お申し込み下さい。

10:00~12:15 【分科会】(本館6階教室 第4分科会のみ本館7階JMホール)

〈第1分科会〉『学校が拓くコミュニティ・キャンパス』~順天中学高等学校やそのほかの活動例から~
会場校企画
高原 恵 氏 渡邊能幸 氏(Second Harvest Japan(2HJ))
Jane Best 氏(Refugees International Japan(RIJ))
〈コーディネーター〉大塚博司 氏 ニコラス・レプシャー 氏(順天中学・高等学校)

〈第2分科会〉『ワークショップで描こう! ギャップイヤーの未来』
大野哲也 氏(桐蔭横浜大学) 磯田浩司 氏(NPO法人GOOD!代表)
〈コーディネーター〉中原晴彦 氏 中家由紀子 氏(協会理事・ギャップイヤー担当)

〈第3分科会〉『学びのコミュニティづくりの新たな可能性』
八木浩光 氏 平賀研也 氏 仙波秀徳 氏(松山ボランティア学習研究会)
〈コーディネーター〉青山鉄兵 氏(文教大学)

〈第4分科会〉『JKたちと学ぼう☆ボランティアいつやるか、今でしょ!(高校生分科会)』(本館7階JMホール)
企画・進行:高校生実行委員会
〈ファシリテーター〉橋本洋光 氏

12:30~13:30 【ボランティア学習協会会員総会】(会員のみ)(本館6階教室) ※お弁当ご希望の方は同封出欠返信ハガキにてお申し込み下さい

13:30 【閉会】

会場校企画 参加団体紹介

ダグ・ヤング 氏

Project Trust 日本担当責任者

青年期には海外で過ごし、英国に帰国してからはプロジェクト・トラストの本部のあるコール島で15年暮らした。スコットランドの歴史とゲール語の学位を取得

Project Trust
プロジェクト・トラストは1967年から、ギャップ・イヤー(17-19歳)の学生を、8~12か月の長期ボランティアとしてアジア、アフリカ、ラテンアメリカなどへ送り出すプロジェクトを行っている。主に語学教育に関するボランティア活動に携わる。日本には1991年より派遣。順天は当初より国内3カ所の受け入れ先として活動。

チャールズ・マクジルトン 氏

Second Harvest Japan 理事長

セカンド・ハーベスト・ジャパンは、日本初のフードバンク活動を行っている団体。日本でのフードセーフティネットの構築を目的とし、企業や個人、学校などから、まだ十分に食べられるにも関わらず廃棄される食品を引き取り、福祉施設や生活困窮者などに食品の提供を行っており、その活動は高校の英語の教科書にも取り上げられている。順天高等学校はスポンサードウォーク・フードドライブを実施し、フードバンク活動に参加している。当日はボランティア担当スタッフが様々な実践例を発表する。

ジェイン・ベスト 氏

Refugees International Japan 会長 兼 代表理事

国際難民支援会は、戦争や紛争のために全てを失った難民を支援するために資金集め、現地で難民のために活動している経験豊かな団体を通じてプロジェクト基金を提供している。東京を拠点として、RIJのスタッフは日本人と外国人ボランティアで構成されている。難民問題に関する出張授業を中学・高校で展開している。
順天中学校ではスポンサードランを実施し、資金提供に協力している。

日本ボランティア学習協会 事務局連絡先
〒180-8629 東京都武蔵野市境5-24-10 亜細亜大学1号館 栗田研究室内
FAX:03-6730-1556 E-mail:krt3737@asia-u.ac.jp